

平成27年海南省議会2月定例会通告一覧（一般質問）

通告	議席番号 通告者名	質 問 要 旨
1	3番 東方貴子 登壇時間 10分	高齢者の支援対策としての公衆浴場の活用について 高齢者が近くの公衆浴場を利用できるようチケット制を導入してはどうか
2	21番 磯崎誠治 登壇時間 10分	教育行政（凶悪事件発生時の安全対策・小中学校の統廃合・学校跡地活用・通学路の安全対策・総合教育会議の運営）について (1) 海南省と紀の川市で発生した子供が絡む凶悪事件で市内各学校の対応と教育委員会の事件の背景の把握及び見解と各学校への指示はどのようにされたのか (2) 文科省が見直した公立小中学校の統廃合に関する基準の詳しい説明と教育長の見解及び本市での対応、新基準に符合する本市の小中学校はあるのか (3) 統廃合の話し合いで学校跡地利用の問題も同時進行で地域と協議してきたのか。現在休校や廃校となっている学校の跡地利用の現状と今後の計画はあるのか (4) 旧海南省の通学路の総点検、特に新庁舎予定地周辺から亀川地区への通学路の安全対策についてどのようにされるのか (5) 4月から施行の総合教育会議の運営はどのようにされるのか（会議の回数・開催場所・市民への告知方法・議題は誰がつくるのか・議事録の管理は）
3	8番 榊原徳昭 登壇時間 10分	人口減少問題に対する対応について 人口減少に対する認識・対策・対応及び成果について
4	13番 橋爪美恵子 登壇時間 15分	1 海南医療センター ～市民の病院として (1) 海南医療センターの現状及び要望について ① 保健医療圏の中で海南医療センターの果たす役割について ② 市民や患者さん、病院関係者からの要望について (2) 安定的な病院経営について 2 学校給食について (1) 中学校給食の実施について (2) 今後の給食費負担のあり方について
5	2番 中西徹 登壇時間 10分	1 公有財産の有効活用について 公共施設の状況について ① 教育委員会が所管する施設の状況は ② 利用財産・未利用財産の把握は 2 新たな財源確保に向けて 有料広告事業について 事業開始からの状況は

通告	議席番号 通告者名	質問要旨
6	6番 黒木良夫 登壇時間 10分	<p>1 「読書通帳」の導入で読書意欲を高める取り組みを</p> <p>(1) 公共図書館の利用者数について、近年の5年間の推移を教えてください</p> <p>(2) 他市と比較して現況はどうでしょうか</p> <p>(3) 利用者数の目標及び拡充に向けての取り組みは</p> <p>(4) 「読書通帳」についてはどのように思われますか</p> <p>(5) 「読書通帳」を導入しては</p> <p>2 反転授業を実施しては</p> <p>(1) タブレットを使わない「反転授業」を導入している学校は県下にありますか</p> <p>(2) どのような内容で行っていますか</p> <p>(3) 導入以前と導入後の比較は</p> <p>(4) タブレットについてはどう思われますか</p> <p>(5) 導入についての考えは</p>
7	17番 川端進 登壇時間 30分	<p>1 教育問題について</p> <p>(1) 40人学級をぶり返すのか</p> <p>(2) いじめ問題について</p> <p>(3) 小中一貫教育について</p> <p>(4) 小中学校統合問題について</p> <p>2 空き家対策について</p> <p>(1) 実態・実情について</p> <p>(2) 本市の検討状況について</p> <p>(3) 全国情勢と解決策について</p> <p>3 計画行政について</p> <p>(1) 総合計画の三層構造は続けるのか</p> <p>(2) 行政計画の自治体計画化</p> <p>(3) その他の大規模計画</p>
8	12番 岡義明 登壇時間 30分	<p>1 ひきこもる本人や家族に支援の手を差し伸べるために</p> <p>(1) 社会的問題となっている「ひきこもり」についての見解はどうか</p> <p>(2) 秋田県藤里町の取り組みに学ぶ ～ひきこもりを地域の力に～</p> <p>① 実態調査について</p> <p>② 支援体制について</p> <p>2 海岸保全施設整備事業（津波対策事業）について</p> <p>(1) 沿岸堤防のかさ上げ以外の選択肢の検討について</p> <p>(2) 市民への説明と意見聴取の実施について</p> <p>(3) 今後の企業や市の負担について</p>

通告	議席番号 通告者名	質問要旨
9	5番 森下貴史 登壇時間 10分	<p>1 プレジャーボート施設の建設について</p> <p>(1) 建設の経緯、規模及び概要</p> <p>(2) 利用者の見込み</p> <p>(3) 地元住民への説明</p> <p>2 防災について</p> <p>避難路・避難場所について</p> <p>① 避難場所に向かう道順のリサーチの実施はされていますか</p> <p>② 市と地区では、津波避難場所に違いがありますが、当局は把握されていますか</p> <p>③ 避難場所への避難路の整備が不十分な地域の今後の取り組みは</p> <p>3 子供の防犯対策について</p> <p>(1) 犯罪から身を守るための取り組み</p> <p>(2) 不審者の情報の共有化について</p> <p>(3) 通学路や遊び場での監視カメラの設置について</p>
10	1番 米原耕司 登壇時間 10分	<p>1 広報・広聴活動</p> <p>(1) 市政懇談会の休日開催について</p> <p>(2) パブリックコメントを活用した市政参画について</p> <p>2 防災・減災計画</p> <p>(1) 全国瞬時警報システム（J-ALERT）について</p> <p>① 導入実績や運用状況</p> <p>② 情報伝達経路の拡充</p> <p>③ 緊急地震速報への対応</p> <p>④ 訓練や整備点検の実施</p> <p>(2) 災害時における給水体制について</p> <p>① 避難所の生活用水確保</p> <p>② 災害時協力井戸の調査や登録制度</p> <p>(3) 建物内部設置型の耐震シェルター普及について</p>

通告	議席番号 通告者名	質問要旨
11	14番 河野敬二 登壇時間 30分	<p>1 国民健康保険について</p> <p>(1) 国保税は差し押さえすべきではない ～払いたくても払えない実態では～（市税の差し押さえ問題にも触れて）</p> <p>(2) 都道府県単位化による市民への影響は</p> <p>2 海南を元気に（パート1） 地域産業の活性化について</p> <p>(1) 自然環境や交通体系を生かした取り組みを求める</p> <p>(2) 商工業への支援 ～円安、消費税で業界は厳しい～</p> <p>(3) 農産品を生かす（ミカンを初めとするかんきつ類や桃）</p> <p>3 海南を元気に（パート2） 自治体での取り組みについて</p> <p>(1) 官製ワーキングプアをなくそう</p> <p>(2) 市内業者育成の観点に沿った適正な価格での入札や物品購入を求める</p> <p>4 精神的な疾患がある方への支援について</p> <p>(1) 精神疾患が発生しやすい若年層に対応して、学校内に精神保健福祉士や臨床心理士を常駐させるなどの支援体制を整備しているか</p> <p>(2) 精神疾患への誤解や偏見をなくすための啓発活動は行っているか</p>
12	4番 中家悦生 登壇時間 15分	<p>整骨院・接骨院（柔道整復師）での施術に伴う文書照会の実施について</p> <p>(1) 施術に伴う文書照会は実施しなくてはいけないものか</p> <p>(2) 文書照会を開始する際、柔道整復師から意見を聞いたり、協議を行ったか</p> <p>(3) 国保連合会による1次点検と公的審査会である柔整審査会における審査の軽視ではないか</p> <p>(4) 文書照会を委託している業者について当該事業の専門業者であるという根拠は</p> <p>(5) 県下他市での実施状況は</p> <p>(6) 真面目な柔整師には多大な受診妨害となっているとの深刻な声を聞いたが、当局の認識は</p> <p>(7) 今後の対応を伺う</p>

通告	議席番号 通告者名	質問要旨
13	11番 上田弘志 登壇時間 20分	<p>行政改革プラン（案）について</p> <p>(1) 行政改革は市民の暮らし、福祉、安全を第一に 片山元総務大臣のコメントについて市長の見解は</p> <p>(2) 市民サービスを保障する職員数は十分か</p> <p>① 適正な（最小な）職員数は何人か</p> <p>② 土木技術職・建築技術職を増員すべきではないか</p> <p>③ 配置基準のある職種の充足数と充足率</p> <p>④ 職種別非常勤職員数</p> <p>(3) 指定管理者制度の基本的問題をどのように考えているか</p> <p>(4) 保育所給食の民間委託化検討中止を求める</p> <p>① 民間委託化検討の理由は何か</p> <p>② 保育所栄養職員は配置されているか</p> <p>③ 偽装請負となるのではないか</p> <p>④ 職員・保護者との話し合いはできているのか</p> <p>(5) 行政改革推進委員会について</p> <p>① 開催回数</p> <p>② プランへの意見</p> <p>③ 現場調査の有無</p> <p>④ 関係者へのヒアリング</p>